

2025年3月

2024年度 地域協働センター活動報告

鹿野ちゃれっじ2024 「果樹の里山プロジェクト」 次世代につなげるシビックプライド

「大学生と地域住民が思いを一つに創っていく空間
—耕作放棄地を観光交流空間へ—」

大阪国際大学
国際教養学部 国際観光学科
久保由加里 研究室

4年 鶴岡えみり

3年 西岡生羅

2年 THANH THIEN PHUC

1. 「鹿野ちゃれっじ」とは
2. これまでの流れ
3. 2024年度の活動目標
4. 活動実施報告①②③④⑤
5. 活動の成果と課題
6. 来年の抱負

1. 「鹿野ちゃれっじ」とは

鹿野町とは



- ・ JR山陰本線浜村駅から車で約15分
- ・ 鳥取市街から車で約30分

・ 緑豊かな山々に囲まれた水田畑地が広がる地域

・ 戦国時代の鹿野城主、亀井茲矩によってつくられた城下町地区では、400年の伝統ある「鹿野祭りの似合う町」テーマに、古民家が立ち並ぶ統一感ある町並みが魅力。鳥取県『県民の建物100選』に選ばれ、行政と住民によって保全されている。

鳥取県鳥取市鹿野町河内



- ・世帯数:81
- ・人口：150
- ・高齢化率：約64%
(令和7年1月31日 鳥取市市役所調べ)
- ・鷲峰山や河内川、法師が滝、棚田など豊かな自然

〈地域の現状と課題〉

- ・地域の過疎化・高齢化の進行
- ・公共交通機関が減便され、日用品や食料品の購入、医療機関への通院等も不便になっている
- ・空き家の増加
- ・農地を維持管理する集落営農組織の育成が十分でない
- ・耕作できなくなる農業者が年々増加しており、耕作放棄地も増加する一方にある

1. 「鹿野ちゃれっじ」とは

「鹿野ちゃれっじ」とは

鹿野町の強みであるまちづくり、演劇、農業の3つを生かした、
体験と人とのめぐりあいを五感で楽しむプロジェクトとして誕生した観光交流事業。

チャレンジ(challenge)
+カレッジ(college)
の造語。



2014年 鹿野ちゃれっじを久保ゼミが検証

⇒ 2015年 農をクローズアップした「果樹の里山プロジェクト」に

1. 「鹿野ちゃれっじ」とは

「果樹の里山プロジェクト」とは

鹿野町・河内地区の耕作放棄地を「果樹の里山」へ。

「果樹の里山をデザインする」をテーマに、人々が行き交う空間づくりを目指している。



- ・世帯数:80
- ・人口 : 149
- ・高齢化率 : 約64% (2024年3月4日現在 鳥取市役所調べ)
- ・鷲峰山や河内川、法師が滝、棚田など豊かな自然に囲まれた魅力ある地域

〈地域の現状と課題〉

- ・地域の過疎化・高齢化の進行
- ・公共交通機関が減便され、日用品や食料品の購入、医療機関への通院等も不便になっている
- ・空き家の増加
- ・農地を維持管理する集落営農組織の育成が十分でない
- ・耕作できなくなる農業者が年々増加しており、耕作放棄地も増加する一方にある

1. 「鹿野ちゃれっじ」とは

「果樹の里山プロジェクト」とは

鹿野町・河内地区の耕作放棄地を「果樹の里山」へ。
「果樹の里山をデザインする」をテーマに、人々が行き交う
空間づくりを目指している。



河内の耕作放棄地
(2014)



果樹の苗植え
(2015)



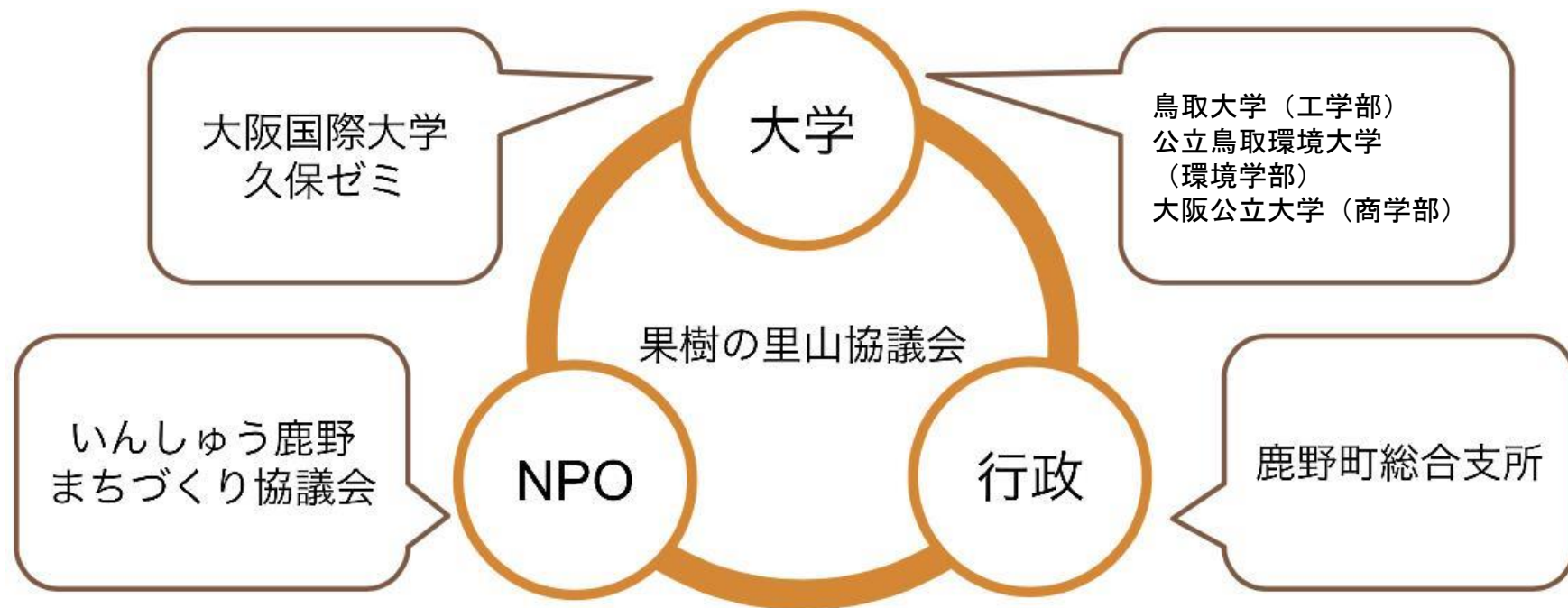
耕作放棄地を
「果樹の里山」へ
(2018)



イベント開催
(2019～)

1. 「鹿野ちゃれっじ」 とは

「果樹の里山プロジェクト」 関係メンバー



2.これまでの流れ

鹿野町×OIU 地域づくりまでのプロセス

①交流



来訪者と地元の人が交流し
また訪れたい空間を目指した

スタートした当時は、地元の方々と
大学生で壁があったが、
お好み焼きをふるまうことで
信頼関係を築くことから始めた

②協働



学生たちは果樹の里山メンバーから、
苗植えや道の整備のやり方を
教わりながら共に作業をした

新しいものを作り出すための
環境づくり

③共創



地域の方だけでなく
行政の方と今後の方針を
話し合い（産官学ミーティング）
活動計画を立てていった

④創造



地域イベントや大学間交流などの
新しい活動を開始した

地域の方々がイベントの運営に
中心となって参加いただける
ようになった

人々が集まり交流ができる場を創
出した

3. 2024年度の活動目標

2024年度の活動目標

1, 学生企画

テーマ：「ミライに繋がる地域との協働・共創」—あなたのつながる力が、まちの未来を創る—

2, 新たなイベントを実施する

この目標とテーマに沿って、活動をした。

4.活動実施報告

2024年度 活動スケジュール

	活動内容
6月	対面・オンライン会議1回
7月	対面・オンライン会議2回 観光農園マップの作製
8月	対面・オンライン会議4回 発表スライド・看板の作成
10月	観光農園イベントの開催 果樹の里山まつり
2月	対面・オンライン会議1回 学会発表
3月	同窓会 in Osaka & Shikano 学生企画の活動記録作成 10周年記念発表会

4.活動実施報告

2024年7月5日

学生企画「ミライに繋がる地域との協働・共創」の採択 「果樹の里山 いちじく観光農園イベント」



地域協働センターにて、鹿野ちゃれっじが採択された。この企画は、学生が主体的に社会の課題やテーマに挑戦し、地域の賑わい創出や地域の魅力を発掘・発信するものだ。この企画を通して、いちじく観光農園イベントの実施を考えた。目的は、2つある。1つ目は、鹿野町河内にある果樹の里山で観光農園を行うために、多様な立場の人と集まり、話し合いや果樹園の整備などを通して、地域のミライに繋がる事業を創り出す。2つ目は、マップやイベントにおける説明などを工夫して、楽しみながら参加者に「果樹の里山」の歴史や、そこに関わる地域の人々の思いが伝わるようにすることで、収穫体験に価値を付ける。

これらを基盤に活動した。



4.活動実施報告①

2024年10月5日 観光農園イベント



今年は、特に学生企画に力を入れた。テーマは、「果樹の里山 いちじく観光農園イベント」である。当日、いちじくの生育が悪く急遽栗拾いへの変更になったが、無事来場された方々に楽しんでもらった。果樹園でイベントを開催する際の、一連の流れを地域の方々に確認していただいた。また、鹿野学園の児童、生徒を対象に「はじめての観光農園」を企画、地域の方々と作り上げた。果樹の里山でくりひろげる開催し、その後一緒に地域資源や広がる耕作放棄地問題について考えた。

4.活動実施報告①

2024年10月5日
観光農園イベント



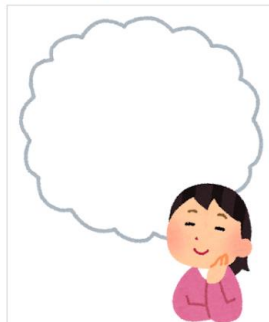
地域の果樹園では、今まで体験農園を運営できていなかった背景があり、今回の学生企画を通して地域の方々と学生が一丸となってイベントを開催することができた。地域のことや果樹園を知ることができるMAPを作成した。また、果樹園に関わる方々の思いが参加者に伝わるように工夫し作成した。今回イベントを開催するにあたり、「ミライに繋がる」をテーマにイベントを企画したため、参加者に地域の魅力が伝わるよう工夫できた。当日は地域の方々が果樹園に集まり、賑やかな雰囲気の中イベントを開催できたため、貴重な経験になった。

果樹の里山ものがたり

大阪国際大学
国際教養学部 国際観光学科
久保由加里 研究室

4年 鶴岡えみり
3年 西岡生羅
2年 クエン タン ティエン フック

河内がどんな集落になったらいいか考えてみよう！



大阪国際大学 4年生
鶴岡えみりさん



4.活動実施報告②

2024年10月20日 果樹の里山まつり

法師ヶ滝フットパス

昨年（2023）の鳥取豪雨により、災害の影響を受けた法師ヶ滝の復旧作業が終了した。2024年度の新たな取り組みとして企画した「法師ヶ滝フットパス」は、今までの私たち鹿野ちゃれっじが贈呈した寄付金を使っていただいた。そして、復旧作業が完了したことで開催に繋がった。



4.活動実施報告②

2024年10月20日 果樹の里山まつり

法師ヶ滝フットパス

新たに繋がりができた小鷲河公民館の館長である横山さんと法師ヶ滝でマイナスイオンを感じられるフットパスツアーを企画した。ここでできた繋がりや、美しい自然を大切に今後もフットパスを開催していきたい。

学生企画のテーマである「ミライに繋がる地域との協働・共創」—あなたのつながる力が、まちの未来を創る— に、繋げることができた。



4.活動実施報告③

同窓会 in Osaka&Shikano



まちづくり協議会が作成してくださった10年の写真のスライドショーを見ながら、それぞれの年代の活動内容や思いを語り合った。「この活動が今の仕事につながっている」、「つらくなった時、よく鹿野のことを思い出す」といった卒業生たちのことばに、改めて活動の意義を感じた。

3月に卒業式を終えた卒業生ニューフェイスまで、10年間の歴代のメンバー9名が集まり、同窓会を開いた。おかげさまで鹿野ちゃれっじ活動1は2025年で10周年を迎えました。2015年に活動していた初代久保ゼミ生、鳥取からはNPO法人いんしゅう鹿野まちづくり協議会メンバーが2名来阪してくださった。



4.活動実施報告④

学生企画の活動記録作成

2024年度「ミライに繋がる地域との協働・共創」—あなたのつながる力が、まちの未来を創る—をテーマにした学生企画に採択され、新たな取り組みに挑戦した。それは、地域の魅力を広く発信し、シビックプライドを次世代へつなげることで、そして観光の力で地域資源を保全し、地域に貢献することだ。

そして、「観光農園イベント」や「果樹の里山まつり2024」などを行った。この一年間の記録を写真集にまとめた。



4.活動実施報告⑤

10周年記念発表会

河内里山ベースにて、「果樹の里山プロジェクト×大阪国際大学 10周年記念」を行った。この果樹の里山プロジェクトに関わっている方々が集まってくださり、10周年を祝うことができた。また、鹿野ちゃれっじについて発表をした。



5. 活動の成果と課題

活動の成果

- ★ 私たちが河内の関係人口になり、観光交流空間を作り出した
- ★ 私たちの活動を発信
⇒地域の方のシビックプライドの向上
- ★ 地域おこし協力隊との交流
⇒新たな価値観を発見、鹿野町の魅力をより広く発信

今後の課題

活動後継者の確保

5. 来年の抱負

感想

はじめて「観光農園イベント」を行い、改めて地域の魅力を再確認ができた。また、どのようにすれば地域の魅力が発信できる非常に良い経験になった。そして、イベントを企画・開催するうえで「地域のために」何ができるのかという部分をより深く考え、仕組みなどを学ぶことができた。

来年の抱負

来年はよりSNSを使用した「地域の魅力発信」を行い、ぜひ興味をもっていただきたい。また、「地域の方と密接に関わり大学生だからできることは何か」という点に力を入れたいと考えている。

果樹の里山 公式SNS



Facebook



Instagram



KAJYU_YAMA

最後に、この活動にご支援をいただいた
地域協働センター並びにご支援・ご協力いただいた
全ての皆様に感謝いたします。ありがとうございました。